

## アソカ講話008

### テーマ「課題の見方、解決の仕方」

現場は日々問題が発生し、解決すべき課題が生まれてくる。問題を解決する目的は何か、常に押さえていないと、間違った方向の支援になりかねないので注意を要する。

問題が発生したとき、その背景・理由を考えることがアセスメントでもあるが、表面的理由だけで判断し、解決しようとするとその支援は利用者のQOLを低める結果となる。

理由・背景を考える判断の指標として忘れてはならないことは、

- ① 目的は何か、その解決方法は本来の姿に近いものか。
- ② 問題と理由の因果関係は事実か、データに基づくものか、実証しているか。そしてそれに基づいて対策を立てているか。

一番分りやすいのが、失禁するからオムツ・・・この場合は問題が失禁で原因は・・・何でしょうか・・・対策がオムツであることを見ると、オムツ以外で解決できる失禁の原因・理由を探していないことが分りますね。事実に基づいて、利用者主体、利用者のQOLを高める方向で話し合い、チームとして方法・対策を考え実施していくことが課題の解決には不可欠ですね。